

2020年、鹿児島で国体が開催!

平成27年7月22日に開催された公益財団法人日本体育協会理事会において平成32年(2020年)第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の開催内定が決定しました。

本県での国体開催は、昭和47年の「太陽国体」以来、48年ぶりで、東京オリンピックと同年の開催となり、国民のスポーツに対する関心が一層の高まりを見せる中で迎えることとなります。

「燃ゆる感動かごしま国体」では、東京オリンピックの感動と興奮を引き継ぐとともに、各都道府県の選手団や大会関係者をはじめ、本県を訪れる全ての方々に、心のこもったおもてなしでお迎えし、大会の成功はもとより、明るく豊かで「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する大会となるよう、準備を進めてまいります。



愛称・スローガン、マスコットキャラクターのロゴデザインが決まりました!



燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

愛称は、言葉をイメージさせるモチーフと配色で、「燃ゆる」の赤は炎のように熱い気持ちを、「感動」の赤は、あたたかく強いハートを、「かごしま」の青は、海に囲まれた地域性を表現するとともに、全体的にスポーツの力強さを感じさせるロゴデザインに仕上げました。

国体

Q&A



Q そもそも国体って?

A 毎年、都道府県持ち回りで開催される国内最大のスポーツの祭典のことです。国体は正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯を授与する都道府県対抗により行われます。

Q どんな競技が行われるの?

A 「燃ゆる感動かごしま国体」では、正式競技(陸上競技、水泳、サッカーなど37競技)、特別競技(高等学校野球1競技)、公開競技(綱引、グラウンド・ゴルフなど5競技)が実施されます。

「燃ゆる感動かごしま国体」の開催意義

開催基本構想
(平成27年5月27日決定)より

本県は、南北600キロメートルに及ぶ温暖で広大な県土を有し、特色ある島々、桜島等の火山、緑あふれる森林、豊富な温泉など、多彩で豊かな自然と個性ある歴史・文化、多様な食材などに恵まれており、国体開催は「本物。鹿児島県」の魅力を全国に発信する絶好の機会となります。

かごしま国体と同年に開催される東京オリンピックにおいて、より多くの本県にゆかりのある選手が活躍する姿は、県民に夢と希望を与え、その後の鹿児島での国体は、オリンピックの感動を再び呼び起こすことが期待されます。また、東京オリンピックメダリストのかごしま国体への出場や参加を積極的に求め、オリンピック開催年ならではの「かごしま国体」になることを目指します。



基本目標

「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する国体

平成32年の「燃ゆる感動かごしま国体」において、県民総参加のもと、鹿児島らしさを生かした国体となるように「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する国体を基本目標として定めます。また、基本目標の実現に向けて、次の5つの項目を大きな柱として様々な取組を行います。

1 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

県民が国体開催に向けて総力を結集し、相互の連帯感や郷土意識を高めるとともに、環境に配慮した大会運営を行い、国体後も明るく豊かで力みなぎる鹿児島づくりにつながる夢と希望のある大会を目指します。

2 スポーツの普及・振興を図る国体

国体を一過性のスポーツイベントに終わらせず、国体開催を契機として県民の積極的なスポーツ活動への参加やスポーツ水準の向上など、広くスポーツを普及・振興し、県民の健康増進や体力向上を図るとともに、スポーツを生かした地域づくりを推進します。

3 簡素・効率化を図る国体

近年の経済状況や日本体育協会が進める国体改革の趣旨等を踏まえ、県内の既存施設の有効活用やボランティアスタッフによる協力など大会運営の簡素・効率化を図り、人的・財政的負担が過重にならないよう配慮します。

4 鹿児島の魅力を発信する国体

鹿児島のすばらしさを感じることのできるような心のこもったおもてなしをするとともに、美しく雄大な自然や豊かな食文化、先人より受け継いだ文化や伝統など、鹿児島の誇れる魅力を全国に発信します。

5 東京オリンピックイヤーにふさわしい国体

国民のスポーツに対する関心が一層の高まりを見せる中で迎える国内最大のスポーツの祭典として、東京オリンピックイヤーにふさわしいかごしま国体の開催を目指します。

